

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年9月4日
【事業年度】	第2期(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)
【会社名】	株式会社じもとホールディングス
【英訳名】	Jimoto Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 栗野 学
【本店の所在の場所】	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
【電話番号】	022(722)0011(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役総合企画部長 坂本 行由
【最寄りの連絡場所】	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
【電話番号】	022(722)0011(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役総合企画部長 坂本 行由
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年6月24日に提出いたしました第2期（自平成25年4月1日至平成26年3月31日）の有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものです。

2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
 - 第2 事業の状況
 - 4 事業等のリスク
 - 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
 - 第3 設備の状況
 - 2 主要な設備の状況

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

4【事業等のリスク】

（訂正前）

当社及び当社グループ企業（以下、「当社グループ」という。）の事業その他に関するリスクについて、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる主な事項を記載しております。

<省略>

18. 主要な事業の前提事項に関するリスク

当社の子会社であるきらやか銀行及び仙台銀行は、銀行法第4条第1項の規定に基づき、銀行業の免許を受け、銀行業を営んでおります。銀行業の免許には、有効期間その他の期限は法令等で定められておりませんが、銀行法第26条、第27条及び第28条に規定された要件に該当した場合には、業務の停止又は免許の取消等が命ぜられることがあります。

現時点において、きらやか銀行及び仙台銀行ともにこれらの事由に該当する事実はないと認識しております。

しかしながら、将来、何らかの事由により前述の業務の停止又は免許の取消等があった場合には、きらやか銀行及び仙台銀行の主要な事業活動に支障をきたすとともに、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

（訂正後）

当社及び当社グループ企業（以下、「当社グループ」という。）の事業その他に関するリスクについて、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる主な事項を記載しております。

<省略>

18. 主要な事業の前提事項に関するリスク

当社の子会社であるきらやか銀行及び仙台銀行は、銀行法第4条第1項の規定に基づき、銀行業の免許を受け、銀行業を営んでおります。銀行業の免許には、有効期間その他の期限は法令等で定められておりませんが、銀行法第26条、第27条及び第28条に規定された要件に該当した場合には、業務の停止又は免許の取消等が命ぜられることがあります。

現時点において、きらやか銀行及び仙台銀行ともにこれらの事由に該当する事実はないと認識しております。

しかしながら、将来、何らかの事由により前述の業務の停止又は免許の取消等があった場合には、きらやか銀行及び仙台銀行の主要な事業活動に支障をきたすとともに、当社グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

19. 公的資金に関するリスク

当社は、「金融機能の強化のための特別措置に関する法律」に基づき公的資金による資本増強を行っており、これに伴い金融庁に対して「経営強化計画」を提出していますが、その履行状況によっては、金融庁より業務改善命令等の措置を受け、当社の業務運営に影響を及ぼす可能性があります。また、公的資金導入にあたり当社が株式会社整理回収機構を割当先として発行した各優先株式が普通株式へ転換された場合には、当社の発行済普通株式数が増加することにより既発行普通株式の希薄化が発生する可能性があります。

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

以下の記載における将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 財政状態

<省略>

(2) 経営成績

<省略>

(3) キャッシュ・フローの状況

<省略>

(4) 経営の基本方針及び中長期的な経営戦略

<省略>

(5) 目標とする経営指標

当社グループは、「平成26年度グループ経営計画」を作成し、平成26年度の経営目標として、コア業務純益80億円、修正OHR76%未滿を掲げております。

(訂正後)

以下の記載における将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 財政状態

<省略>

(2) 経営成績

<省略>

(3) キャッシュ・フローの状況

<省略>

(4) 経営の基本方針及び中長期的な経営戦略

<省略>

(削除)

第3【設備の状況】

2【主要な設備の状況】

(訂正前)

当連結会計年度末における主要な設備の状況は次のとおりであります。

(平成26年3月31日現在)

	会社名	店舗名 その他	所在地	セグメントの 名称	設備の内容	土地		建物	動産	リース 資産	合計	従業員数 (人)
						面積 (㎡)	帳簿価額 (百万円)					

< 前略 >

連結子 会社	(株)仙台銀行	本店及び支店 67カ店 5出張所	宮城県	銀行業	店舗・事 務所	51,750.06 (8,579.12)	3,983	3,193	1,513	60	12,429	706
		作並倉庫	宮城県仙台市 青葉区	銀行業	倉庫	4,160.79	17	12	0	-	31	-
		勝山社宅他	宮城県	銀行業	社宅・寮	5,575.85	194	16	-	-	218	-
		本店	宮城県仙台市 青葉区	その他	事務所	-	—	0	0	-	0	4

< 後略 >

(訂正後)

当連結会計年度末における主要な設備の状況は次のとおりであります。

(平成26年3月31日現在)

	会社名	店舗名 その他	所在地	セグメントの 名称	設備の内容	土地		建物	動産	リース 資産	合計	従業員数 (人)
						面積 (㎡)	帳簿価額 (百万円)					

< 前略 >

連結子 会社	(株)仙台銀行	本店及び支店 67カ店 5出張所	宮城県	銀行業	店舗・事 務所	51,750.06 (8,579.12)	3,983	3,193	1,513	60	8,750	706
		作並倉庫	宮城県仙台市 青葉区	銀行業	倉庫	4,160.79	17	12	0	-	30	-
		勝山社宅他	宮城県	銀行業	社宅・寮	5,575.85	194	16	-	-	211	-
		本店	宮城県仙台市 青葉区	その他	事務所	-	—	0	0	-	0	4

< 後略 >